

## 医療の質と活動の実態調査・改善事業について

2020年12月16日

岡山済生会総合病院

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることを目指しております。詳細は以下の「研究参加と既存情報の提供についての公開情報」をご覧ください。

本件にご質問・ご意見がございます場合には、④試料・情報の管理についての責任者へお問い合わせください。

### 研究参加と既存情報の提供についての公開情報

項目	QIP
整理番号	170715
①試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法	匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供する。
②利用し、又は提供する試料・情報の項目	厚生労働省により規定され作成された DPC データ(年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など)
③利用する者の範囲	「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者 研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 教授 今中雄一 研究実態体制は研究責任者によるホームページをご参照ください。 <a href="http://med-econ.uimin.ac.jp/disc/">http://med-econ.uimin.ac.jp/disc/</a>
④試料・情報の管理についての責任者	情報担当責任者：岡山済生会総合病院 学術支援センター 医学資料室 中山 進也 086-252-2211 (大代表)、 <a href="mailto:library@okayamasaiseikai.or.jp">library@okayamasaiseikai.or.jp</a>